

はじめよう!! 火育

外販課 吉澤 宏和

火育というものをご存知でしょうか？ 字の通り火について教育することです。最近では火を付けたことが無い、扱ったことが無い、見る機会が少なくなったという子供たちが大勢いるようです。

時代の流れもあり、電化の普及で火の出番が以前より少なくなっているのも事実ですし、喫煙者の減少により、ライターなど着火元の稼働率がとても減少しているのです。そんな火から少し遠ざかっている子供たちに対し、火の利便性と危険性を教えることを火育と呼んでいるようです。

私の子供の担任の先生はアウトドアが好きで野外授業で火起こし体験をしてくれました。燃えやすい木、燃えにくい木、燃える時間が長い木などを詳しく教えてくれたようで、火についてとても興味を持つようになってくれました。次世代を担う子供たちが、火について学び、正しく扱い、そして火がもたらすさまざまな恵みを知り…それを伝えていくのは今の私たちの使命ではないでしょうか？

被災体験をした女性のお話し『火がもたらす勇気』

1995年に発生した阪神・淡路大震災の被災者で、避難所で炊き出しを担当していたある女性はこう語っている。「被災地では本当に火は重要な。火を扱えない人が当時本当に多くて、私は火の番を続けていたの。もっと多くの人が火を扱えたら楽だったのにね。」さらに、こんな話もしてくれた。「夜は、地震で家族や住居、職を失った被災者がたき火を囲んで毎晩のようにお酒を酌み交わしたの。みんな、たき火に癒され、救われたのよ。」

普段当たり前にある電気やガスが一時的に止まる被災地。そんなサバイバルな状況下で、たくましく火を起こし、炊き出しをする。そして夜は、みんなでたき火を囲んで被災の痛みを分かち合う。火は被災地ではなくてはならない存在であり、火を使いこなせることは人間に必要な基本的な防災力なのだ。

そういえば、東日本大震災直後に被災地に入ったボランティア・リーダーの知人もこう語っていた。「避難所での生活は、まず火を起こし、お湯を沸かすことから始まるんだよ。」



災害時、火を扱うことができなかったら、暖も取れず、食事も制限されてしまいます。正しく安全に火をコントロールできるように教育していかなければいけないですね。

橋本のつづき

ガズ展が始まります。毎年恒例のアポロ新聞の企画「豪華賞品当り」が今年もあつちです。アポロ新聞にのります。応募用紙に希望商品をお名前と住所を記の上、当会に送付してください。

まず応募箱に投函してください。抽選に当選した場合は、毎月の山ご応募をいただきます。ご希望の商品が入るのを待って、投函される方をいいます。これは商品をお返すことができません。

その場で投函の際は、再度記入漏れがないか確認下さい。応募箱の設置場所がわからない場合は、案内にあるシールを確認下さい。火育という活動は、自分自身で体験し、学び、伝えることが大切です。

すくい方、捨て方、増えたり減ったりは、馴染みのある子供に教えてあげたいと思います。また、連日の大雨やゲリラ豪雨、台風など、自然災害の被害が深刻化しています。日本にお住まいの皆さん、ぜひこの機会に、火育の大切さを伝えてください。

衣水（ベントリ）を使用し、水面浮く。燃焼を止めることができ、燃焼を止めることができ、燃焼を止めることができます。燃焼を止めることができ、燃焼を止めることができます。燃焼を止めることができ、燃焼を止めることができます。

アポロ新聞

豪華賞品 2019 アポロ新聞 リフォーム& 当てちゃおー!!

おいしい生活は、家族の笑顔から。

※2ヶ月間掲載させていただきますが、応募は1家族1枚とさせていただきます。 ※会場ごとにイベント内容が異なります。

A アイリスオーヤマ 布団乾燥機 FK-W1
(1名様)

B 金谷 伊賀牛すき焼用 (500g)
(3名様)

C JCB商品券 3,000円分
(3名様)

上野会場
○上野ガスショールームフラム
イオン伊賀上野店 駐車場
11/23(土) 4(祝)
TIME:10:00~17:00

名張会場
○名張産業 振興センター アスピア
11/9(土) 10(日)
TIME:10:00~17:00
★10日は16:00まで

2019 アポロ新聞 リフォーム& 応募用紙

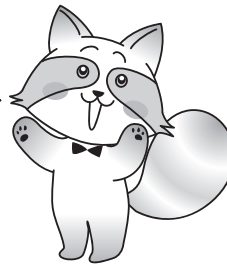
希望賞品:

氏名 年齢

住所

TEL

ご希望賞品の
A・B・Cを
記入してね!



※発表は紙面にて掲載させていただきます。ご記入いただきました個人情報、抽選のみ使用させていただきます。